

岡志別川遡行

2021 年 8 月 7 日

(行動予定)

8 : 00 岡志別の森運動公園駐車場集合～8 : 30 登山口スタート～入溪～12 : 00 不動の滝直下～12 : 30 下山開始～14 : 00 下山終了～車両回収～15 : 00 解散

(参加者名)

CL 澤田、SL 長沼、SL 宇田、近藤、笹山、後藤、太田、八重樫、増川、水江、鈴木

遡行終盤でメモを川に流してしまい詳細な記録が残っていません。あらかじめお詫びしておきます。

この沢は不動の滝上流部にかかる橋からのごみの不法投棄が問題になっており、「ゴミ沢」の異名がある。先日、当会のメンバーも参加してごみ回収作業に汗を流している。

地形図では川の両岸は結構な崖になっているが、入溪地点から不動の滝までの標高差はさほどでもなく、「難しい滝もないだろう」と全員が軽い気持ちで参加したのではと思う。

小さな住宅街を抜けたところに駐車して 10 分ほど右岸沿いを歩いた地点から入溪する。しばらくはゆったりとした川歩き。予想通り上流から流れてきたであろうペットボトルなどのごみが目につき始めてきた。まもなくして一つ目の堰堤が現れる。全部で 7 つあるそう。右岸を高巻きするが鹿道(?)がまるで登山道のようについていて藪漕ぎは全くない。

しばらくして川幅が狭まり核心部に突入する。優雅な川歩きの予想を裏切るかのようにゴルジュが続く。砂岩質の川床のせいか深いところでは腰のあたりまで削り取られている。一旦腰までつかってしまうと身動きが取れなくなり、往生するメンバーも続出する。同じような難所が次から次と出てくる。両岸に手足を突っ張り、横向きでの突破を繰り返すがそれができない人は相当苦勞していた。こんなに腕力を使う沢は初めてだ。こんなはずではなかったと後悔し始めた人も多かったのではないだろうか。

予定より時間を費やし、ようやく左岸に台地に上がる帰りのルートを見つけた。このままいけば不動の滝につくが、体力の消耗が大きい一部メンバーがその場に待機することになり、残りのメンバーで先を進む。このあたりから大型のごみが目立ち始め、冷蔵庫やタイヤまであり、不動の滝周辺の景観を台無しにしていた。

帰りは左岸の急斜面につけられた道をジグを切って登り、札内台地の牧草地に無事到着。河村会長の迎えの車で岐路につくことができた。近場でこんなに手ごたえのある沢を発見でき、企画してくれたリーダーに感謝です。これからも気持ちよい沢を楽しむためにごみの回収をやる必要があるのではと感じた。

文責：水江

